

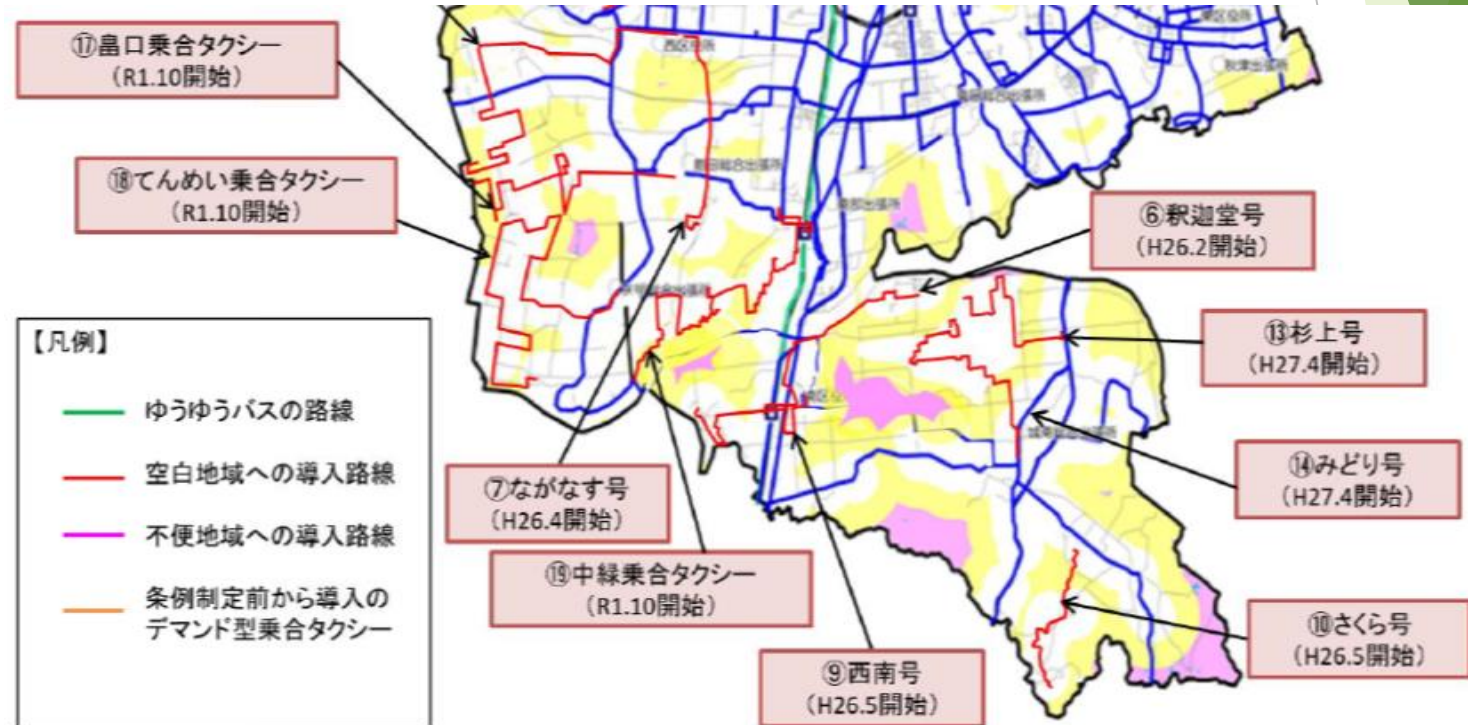
# 報告 3

## 南区における高齢者の移動 手段に関するインタビュー 調査結果について

令和3年（2021年）12月 南区役所

# 乗合型デマンドタクシーの概要

- ▶ 熊本市が委託する乗合型デマンドタクシーが9路線運行
- ▶ 利用者負担制（大人200円・小学生以下100円の定額制）
- ▶ 運行ダイヤ方式
- ▶ 事前予約制



# 乗合型デマンドタクシーの利用状況

- ▶ 平成25年度から開始
- ▶ 10日に1便程度の利用
- ▶ 乗合率は1.4%  
(大半が一人乗車)

一部を除き、あまり  
利用されていない



高齢者の現状の移動  
手段等を探るため、  
独自調査を実施

空白地域乗合タクシー運行実績

路線名			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①	釈迦堂号 (H26.2~)	利用者数(人)	9	50	25	14	1	4	1	1
		運行便数(便)	5	48	22	11	1	4	1	1
②	ながなす号 (H26.4~)	利用者数(人)		103	32	0	5	40	10	1
		運行便数(便)		91	31	0	5	38	7	1
③	西南号 (H26.5~)	利用者数(人)		2	2	22	39	50	32	5
		運行便数(便)		2	2	22	38	40	27	3
④	さくら号 (H26.5~)	利用者数(人)		53	20	2	0	2	5	1
		運行便数(便)		53	18	2	0	2	3	1
⑤	杉上号 (H27.4~)	利用者数(人)			34	60	23	12	50	60
		運行便数(便)			32	58	21	11	47	60
⑥	みどり号 (H27.4~)	利用者数(人)			50	10	23	61	77	56
		運行便数(便)			43	8	20	56	73	54
⑦	畠口乗合タクシー (R1.10~)	利用者数(人)							12	1
		運行便数(便)							12	1
⑧	てんめい乗合タクシー (R1.10~)	利用者数(人)							259	529
		運行便数(便)							235	493
⑨	中緑乗合タクシー (R1.10~)	利用者数(人)							280	300
		運行便数(便)							203	260

# 調査方法

- ▶ 対象地域の高齢者に対して、まちづくり担当職員が1時間程度直接聞き取るインタビュー調査
- ▶ 調査対象者  
天明、飽田、富合、城南地域の公共交通不便地域及び公共交通空白地域に居住する65歳以上の高齢者
- ▶ 調査数 22名

## 【地域別対象者の内訳】

地域名	南区西部地域		南区南部地域		計
	旧天明町	旧飽田町	旧富合町	旧城南町	
対象者	6人	6人	5人	5人	22人

# 調査対象者の属性等

## ▶ 性別

性別	男性	女性	計
対象者	9人	13人	22人

## ▶ 年齢層

年代	50代	60代	70代	80代	90代	計
対象者	1人	2人	11人	6人	2人	22人

※ 50代の対象者（重度障がい有）は、80代の母と2人暮らし。インタビューへの回答は、主に50代の息子が回答されたため50代として分類

## ▶ 家族構成

世帯分類	高齢者 単身世帯	高齢者夫婦 のみの世帯	高齢者とその子 からなる世帯	計
対象者	9人	8人	5人	22人

## ▶ 免許の有無

免許の有無	あり	なし	計
対象者	12人	10人	22人

※ 免許ありのうち4名は80代及び90代

# 現在の移動手段について

- ▶ 公共交通不便地域でありながら、10名が免許を有しておらず、うち8名（約36%）が誰も免許を持たない世帯であった。

【調査対象者の運転免許の有無】

免許の有無	あり	なし	計
調査対象者	12人	10人	22人

【運転免許を有していない対象者の世帯類型】

世帯類型	単身世帯	複数世帯		計
		免許保有者不在	免許保有者同居	
該当者	5人	3人	2人	10人

## 世帯全員が免許を保有していない場合（8名）

- ▶ 免許を保有していない高齢者の主な移動手段は、近所に住む家族や知人の送迎とタクシーの併用
  - 長男夫婦の都合に合わせて送迎をお願いしている。通院の際は介護タクシーを利用している。（80代・女性・単身世帯）
  - 買い物は近所の親戚に送迎をお願いし、通院は病院の送迎タクシーを利用している。（70代・女性・単身世帯）
  - 通院・買い物とも月2回程度はタクシーを利用している。タクシー代は往復で3千円程度かかる。遠方にいる娘に送迎をお願いすることもあるが、タクシーを利用するよう勧められる。子ども達も忙しいので送迎は頼みづらい。（70代・女性・複数世帯）

## 本人は免許なし、同居家族が免許有（2人）

- ▶ 同居家族が運転免許を保有している場合、高齢者の主な移動手段は同居家族の送迎
  - 夫の送迎で、買い物や通院に行っている。現在は遠方に住む孫を跡継ぎに迎えるまでは夫の免許返納はできない。（70代・女性・複数世帯）
  - 夫の送迎で、週1回程度買い物や通院に行っている。（70代・女性・複数世帯）



## 対象者が免許を保有している場合（12人）

### ▶ 運転免許保有者のうち、～70歳代前半の主な移動手段は自らの運転

【年齢層別主な移動手段】

年代	60代	70代	80代	90代	計
自ら運転	2人	4人	0人	0人	6人
送迎依頼	0人	2人	3人	1人	6人

- 通勤や買い物などでほぼ毎日自家用車を運転している。週末は遠出することもある。公共交通を利用することがない。（60代・女性・複数世帯）
- 公共交通が不便なため、ほぼ毎日買い物で3～4km自家用車を運転している。（70代・男性・複数世帯）
- バスの運行本数が少ないので、買い物や通院でほぼ毎日3～5km自家用車を運転している。（70代・男性・複数世帯）

- ▶ 運転免許保有者のうち、70歳代後半～は、主に近所の親戚・知人等に依頼し、都合がつかない場合は自ら運転している

【年齢層別主な移動手段】

年代	60代	70代	80代	90代	計
自ら運転	2人	4人	0人	0人	6人
送迎依頼	0人	2人	3人	1人	6人

- 買い物は週1回程度近くに住む次男の送迎で対応し、週1回の通院は病院の送迎タクシーを利用している。月4回程度自家用車を運転するが、足にしびれがあるので遠出することはない。（70代・女性・単身世帯）
- 原則、同居の娘の車で送迎してもらう。月1回の病院と床屋、月2回の墓参り、週2回のリハビリには自家用車を運転して行っている。（90代・男性・複数世帯）
- 月2回の通院、公民館での絵画教室、買い物や友人宅へ同居の妻や息子の送迎で行っている。近距離であれば、自分で運転することもある。（80代・男性・複数世帯）

# 乗合型デマンドタクシーの認知度・利用実績

- ▶ 多くの人々がデマンドタクシーを知っているが、利用したこと  
がある人は少なかった

【認知度と利用実績】

	認知	不知	計
利用実績あり	6人	0人	6人
利用実績なし	13人	3人	16人
計	19人	3人	22人

- ▶ 19名（約86%）の高齢者が乗合型デマンドタクシーが運行  
していることを知っているが、利用したことがあるのは6名  
（約27%）のみ
- ▶ デマンドタクシーを利用したことがない16名中5名が、現状  
の移動手段で満足しているため今後も利用しないと答えた

# デマンドタクシーへの要望

- ▶ 自宅まで迎えに来てほしい
- ▶ 降車場所を直接目的地にしてほしい  ドア・トゥ・ドア方式

- 予約や停留所へ移動し待つのが不便に感じ、免許返納までは利用しない。家に迎えに来てくれたり、よく行く場所に行ければ利用するかもしれない。しかし返納後も足腰に自信がなくなれば、今の方法では利用できないかもしれない。（70代・女性・複数世帯）
- 足にしびれがあり歩行困難のため、停留所までの移動に負担のかかる乗合タクシーは利用していない。（70代・女性・単身世帯）
- 免許返納後を考えて利用してみたいが、現行の行き先のバス停からの乗り換え（乗り降り含め）が高齢者には難しい。目的地まで一気に行けるようになれば、利用したい。（80代・女性・単身世帯）

# デマンドタクシーへの要望（その他）

- ▶ 事前予約制が面倒
- ▶ 料金に負担感はない。ある程度であれば値上げも可
- 週3回の透析で、節約のため乗合タクシーを利用したいが、診察時間に都合のよいダイヤがなくほとんどタクシーを使う。事前予約の時間を10分間短縮してくれるだけでもだいぶ使い勝手よく感じる。（50代・男性・複数世帯）
- 歩いてすぐの場所に停留所があり、通院やデパートに行くときに利用している。利用料金も負担に感じることはない。（80代・女性・単身世帯）

# 高齢者に適した移動手段について

- ▶ 若い頃から、公共交通の便の悪い自動車中心の地域で暮らしてきたことから、乗り換えや時刻表などを気にせずに移動できる自家用車による移動が習慣となっている
- ▶ 主な外出の目的は、近隣（5 km程度）の医療機関、福祉施設への通院（通所）と買い物
- ▶ 70代後半以降は、運転免許を保有していても親族や近所の知人等に依頼する「送迎」を主な移動手段としており、送迎の都合がつかない場合は自らの運転で移動
- ▶ 70代前半までは、自ら運転し、通勤・買い物に加え趣味のためなど、ほぼ毎日外出

## 高齢者に適した移動手段について（続き）

- ▶ 同居世帯員を含め免許を保有していない高齢者の主な移動手段は、近所に住む家族や知人による送迎及びタクシーの併用
- ▶ 親族は、高齢者が何歳までも自家用車を運転することを心配している
- ▶ デマンドタクシーを利用しない理由は、自家用車あるいは親族・知人等による送迎と比較して、利便性が低いことにある
- ▶ 無償の送迎サービスを行っている病院や低料金の介護タクシーサービスが多い